



2019.11.1

No. 203

9月

定例会

市議会だより

『健康都市宣言』可決！



決算審査特別委員会にて
平成30年度剰余金の処分の可決及び決算の認定！

CONTENTS

- 《企画》「開かれた議会」を目指して
..... ②～③ページ
- 9月定例会の概要／議会日誌／
12月定例会の予定 ④ページ
- 市政に関する質問 ⑤～⑩ページ
- 常任委員会審査の概要 ⑪ページ

- 平成30年度決算審査特別委員会審査の概要
..... ⑫～⑬ページ
- 審議結果 ⑭ページ
- 意見書／人事案件等 ⑮ページ
- 議会報告会開催のお知らせ／請願審査結果
..... ⑯ページ

交流会の内容

どんな内容で開催するのですか？

“議会報告”と“意見交換”の2部形式で行います。

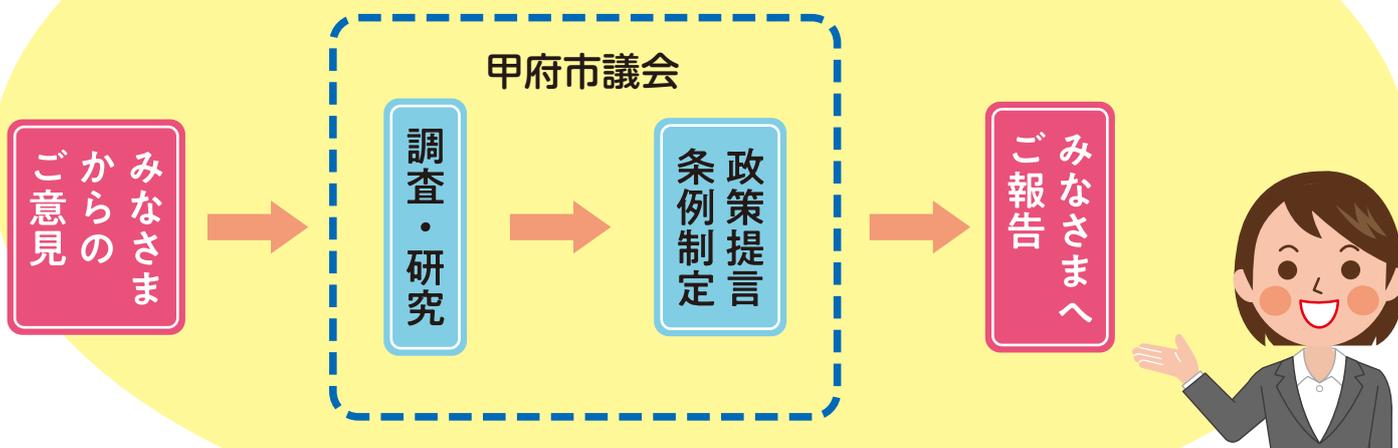
“議会報告”は、市議会の説明や議員紹介、定例会の報告などを行い、“意見交換”は、各テーブルで市民のみなさまと議員がテーマに沿って気軽にお話していただきます。



意見交換

テーマは何にするの？

今回は、『**未来の甲府に望むこと**』をテーマとし、日頃から思っていることなど、みなさまの声をお聞かせください。みなさまからいただいた貴重なご意見は、市議会として調査・研究し、今後の政策提言などへつなげていきます。



甲府市議会では初となる「市民と議会の交流会」は、11月11日(月)、12日(火)に開催します。詳しい日程や会場は裏表紙をご確認ください。

「開かれた議会」を目指して

市民と議会の交流会
～議会報告会・意見交換会～ 開催にあたって

甲府市議会では、これまでも積極的な情報発信に努めてきましたが、さらに「開かれた議会」を目指し、市民のみなさまと語らう場として『市民と議会の交流会』を開催することとしました。

ぜひ、これからの甲府市議会にご注目ください！

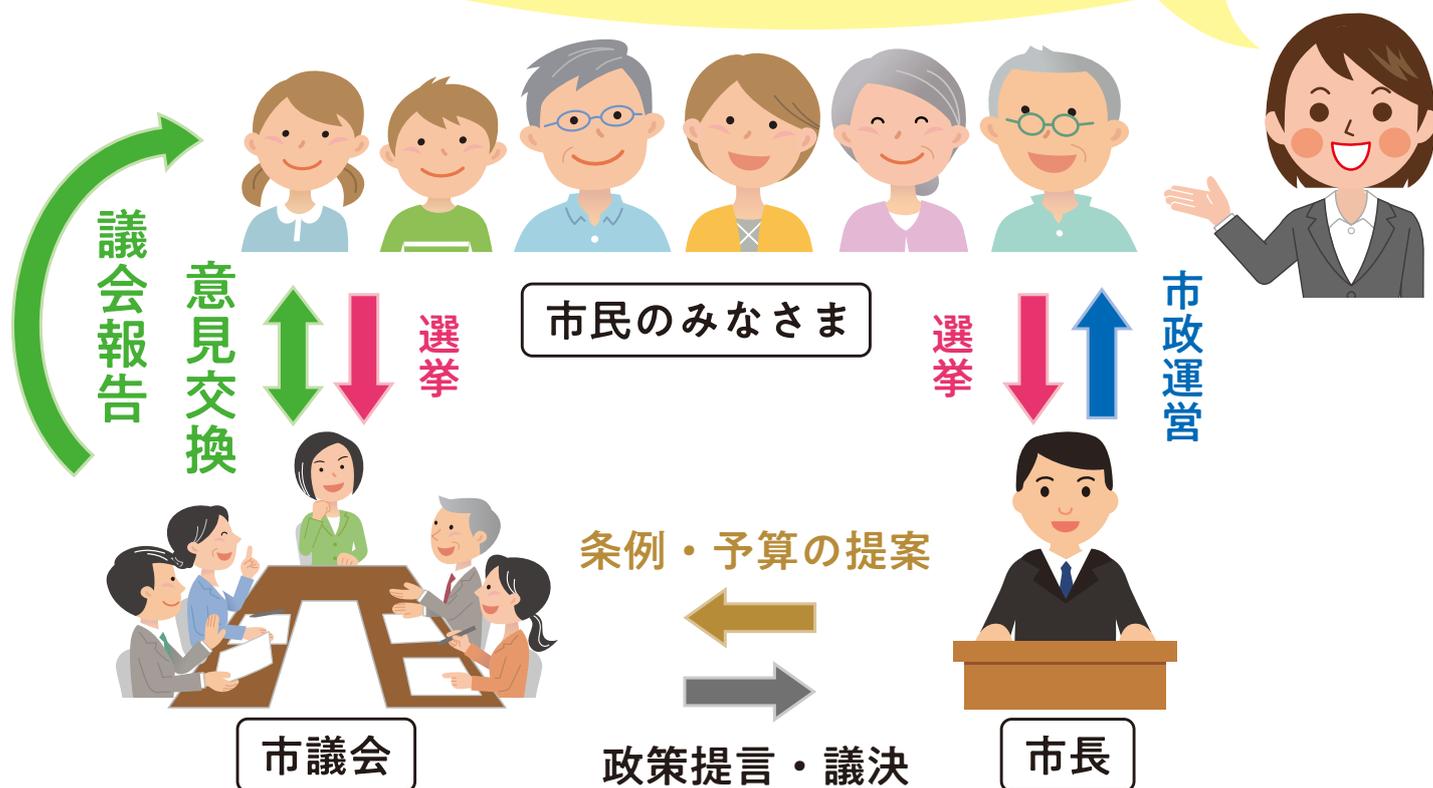
開催の目的

どうして、交流会を開催するの？



地方自治は二元代表制であり、市議会は、市長が市政運営を適切に行っているかチェックし、市政についての重要事項を決定しています。

市民と議会の交流会を開催し、市議会と市民のみなさまが市政に関する多くの情報を交換し合い共有することで、より市民のみなさまの意見が反映された市政運営が図られると考えました。



甲府市議会は、9月定例会を9月4日から10月2日までの29日間の日程で行いました。

健康都市宣言について、平成30年度甲府市各会計別決算の認定についてなど、各常任委員会の審査(概要は11ページ)及び決算審査特別委員会の審査(概要は12・13ページ)を経て、市長から提案された28案件を審議し、すべて原案のとおり可決・認定・同意・可決及び認定いたしました。

健康都市宣言については、市民と地域、行政が一体となり健康づくりに取り組むことで、健康寿命の延伸を図りながら活力ある甲府市を目指し、その方向性を市民の永続的な道標とするため、健康都市を宣言するものです。

主な条例は、甲府市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定についてで、新たに会計年度任用職員制度が創設されることから、本市における会計年度任用職員の給与及び費用弁償を定めたものです。

主な補正予算は、令和元年度甲府市一般会計補正予算(第2号)で、会計年度任用職員制度に伴う人事給与システムの改修に係る経費等の補正となっています。

9月定例会の概要

議会日誌

7月10日(水)	会派代表者会議、議会運営委員会	9月9日(月)	本会議(質疑及び市政一般質問)
7月17日(水)	議会運営委員会	9月10日(火)	
7月23日(火)	全員協議会	9月11日(水)	会派代表者会議、議会運営委員会、本会議(各常任委員会付託、決算審査特別委員会設置)、決算審査特別委員会
7月30日(火)	中核市議会議長会		
8月2日(金)	議会運営委員会視察	9月13日(金)	
8月5日(月)	会派代表者会議、広報委員会	9月17日(火)	常任委員会(経済建設・環境水道)
8月6日(火)	議会運営委員会	9月19日(木)	議会運営委員会、本会議(各常任委員長報告、討論、採決)
8月7日(水)	経済建設委員会(所管事項調査)、山梨県市議会議長会議員合同研修会(前期)	9月20日(金)	
8月23日(金)	会派代表者会議	9月24日(火)	経済建設委員会
8月27日(火)	全員協議会	~27日(金)	
8月30日(金)	議会運営委員会、会派代表者会議	9月30日(月)	議会運営委員会、本会議(決算審査特別委員長報告、討論、採決)、9月定例会閉会、広報委員会
9月4日(水)	9月定例会開会、提案理由の説明、広報委員会、議会運営委員会	10月2日(水)	
		10月7日(月)	

本会議や委員会はどなたでも傍聴できます。
 なお、本会議の内、開会日及び市政一般質問を行う3日間はNNS(10ch)やインターネットによる中継のほか、本庁舎南側にある大型ビジョンでも放映します。



12月定例会の予定

月	火	水	木	金	土	日
12/2	3	4	5	6	7	8
		本会議(開会)	休会	休会		
9	10	11	12	13	14	15
本会議(市政一般質問)			常任委員会			
16	17	18	19	20	21	22
休会	本会議(閉会)					

市 政 に 関 す る 質 問



創政こうふ
代表質問 (分割)

興石 修

リニア駅の位置について

質問Q リニア駅を大津町に建設するメリットを検証すると

していましたが、検証の進捗状況とその内容について伺います。

答弁A リニア駅の大津町地内の優位性を確認するため、リニア活用庁内検討会議を設置し、その下に庁内ワーキンググループを組織して検討作業を進めています。

検討の内容は、延伸工事が進んでいる新山梨環状道路や、スマートインターチェンジの整備により利便性が向上する中央自動車道にアクセスしやすくなること、また、近郊地域には都市的土地利用の展開が期待できる土地が多数あることなどの環境条件を踏まえ、交通や観光、企業誘致等、多角的な視点からの検証を行っています。

今後、リニア効果が山梨県内全域へ波及するよう、県や関係自治体と連携し、リニアを活かしたまちづくりを推進してまいります。

子どもの貧困への対策について

質問Q 貧困等の深刻な課題を抱える子どもたちや、子ども

たちを支援している民間団体に対する支援策について伺います。

答弁A 本市では、ひとり親家庭や生活困窮世帯への各種支援、子どもを支援する担い手育成事業等に取り組んでまいりました。

加えて、子どもたちの社会的な孤立を防ぎ、子ども自身が抱える深刻な課題に手を差し伸べられる身近な交流や相談の場となる居場所づくりが必要と考えています。

今後は、居場所づくりを担う地域団体等に対して、協力者や活動場所の確保等の支援を行うとともに、団体間の情報交換や連携を図れるようなネットワークの構築を進め、こうした取組を更に推し進めるため、(仮称)子ども条例を制定し、全ての子どもたちが自ら夢に向かってたくましく育つ社会の実現を目指してまいります。



その他の質問事項

- ・立地適正化計画を踏まえた本市のまちづくりについて 他



公明党
代表質問 (分割)

兵道 顕司

健康都市実現に向けた取組について

質問Q がん検診等の受診率向上に向け、申込方法を希望する

各種オプション検診を選ぶオプション方式から、受診したくない検診を選ぶオプション方式に転換すべきと考えますが、ご所見を伺います。

答弁A 従来の検診申込方法の発想を転換し、受診したくない検診を選ぶオプション方式を取り入れた検診方法は、受診率向上に有効と考えることから、特定健診とがん検診のセットでの受診など更なる工夫を加え、オプション方式によるがん検診の申込方法の導入に向け検討してまいります。

今後も、多くの市民の皆様が、がんをはじめとした疾病の予防に向け、日頃の生活習慣を見つめ直し、定期的に健診を受診していただけるよう、受診しやすい健診の実施と周知に努め、健康寿命の延伸につなげてまいります。

TNR活動等を通じた地域の絆づくりについて

質問Q 飼い主のいない猫に不妊

去勢手術を施し、その後の餌やりや糞尿の管理を行うTNR活動等に取り組む団体が連携できる場としてのプラットフォームづくりと、活動の紹介や啓発を行い、市民意識の高揚に向け取り組むべきと考えますが、ご所見を伺います。

答弁A 本市では、9月23日に動物愛護デーを初めて開催し、犬や猫の飼い方相談やペットの健康相談等とともに、TNR活動の紹介も行い、ボランティア団体が相互に交流できるプラットフォームづくりや、市民との交流を始めるきっかけにしたいと考えています。



その他の質問事項

- ・今後のプラスチックごみ対策について 他

※一問一答…一問ごとに質疑応答を行う。 分割…質問項目ごとに質疑応答を行う。 一括…質問項目すべてを質問し、一括で答弁を行う。



こうふ未来
代表質問 (分割)
神山 玄太

次期甲府市総合戦略の策定について

質問 Q 今年度で計画期間が終了する甲府市総合戦略については、本市の目指す価値を明確にした上で資源を選択と集中するという考え方の下、次期総合戦略を策定すべきだと考えますが、見解を伺います。

回答 A 現行の甲府市総合戦略は、「流れの創出と交流人口の確保」、「地域産業と雇用環境の充実」、「総合的な子育て支援と良好な教育環境の充実」、「良好な生活環境の整備と持続可能な行財政運営」を掲げており、次期総合戦略においてもこの方向性は維持しつつ、特に「子育て・子育て」と「仕事」に係る施策により重点を置いて取り組んでいく必要があると考えています。

今後は、多様な主体等の参画を得る中で、本年度末には具体的な数値目標等を掲げた次期総合戦略をお示しします。

緑が丘スポーツ公園のリニューアルについて

質問 Q 緑が丘スポーツ公園のリニューアルは、周辺の住環境への影響を考慮しつつ、市民がそれぞれのライフスタイルに合わせた利用も想定し整備すべきと考えますが、見解を伺います。

回答 A 緑が丘スポーツ公園の改修にあたっては、子どもたちの運動機会の充実を図るとともに、ジョギングやウォーキング等のライフスポーツができるよう整備をしていきたいと考えています。

甲府市体育協会を通じ、各競技団体の要望を集約する中で、基本方針を取りまとめたところです。

今後は、関係部署が連携する中で具体的な整備内容について検討し、新環境・緑が丘アクセス線の整備を行う山梨県と綿密な協議や補償交渉を進めるとともに、市民や競技団体への丁寧な説明に努めながら、事業を進めてまいります。



その他の質問事項

● 甲府-KI-GA-I-CONソーシアムの今後の展開について 他



日本共産党
代表質問 (分割)
木内 直子

行政評価外部評価について

質問 Q 今年度、行政評価外部評価委員会に意見を求めている事業をお示しく下さい。また、重度心身障がい者への入院時食費療養費助成を継続することを求めますが、見解を伺います。

回答 A 本年度の行政評価外部評価対象事業は、窓口休日開設推進事業、こうふフューチャーサーチ普及促進事業、敬老対策事業、入院時食費療養費助成事業、子ども運動遊び事業、運転免許証返納高齢者支援事業の6事業です。また、入院時食費療養費助成事業については、在宅療養者との公平性の観点に加え、県内では重度心身障がい者の全年齢を対象として食事療養費を助成しているのは本市のみであることなど、他都市の状況を踏まえる中で、行政評価外部評価委員会の意見を参考に、今後の制度のあり方について検討してまいります。

すこやか子育て医療費助成制度の対象年齢拡大について

質問 Q すこやか子育て医療費助成制度の対象年齢を高校生(18歳)まで拡大すべきと考えますが、見解を求めます。

回答 A すこやか子育て医療費助成事業は、子どもたちの健全やかな成長に寄与し、子育て世帯の負担軽減を図るため、平成28年1月から対象年齢を中学校3年生まで拡大し、実施しています。

また、昨年度は不育症治療費等助成事業を実施し、本年度も小児慢性特定疾病対策事業を実施するなど、新たな支援に取り組んでいます。

今後も、「子ども最優先のまち」を実現する総合的な支援施策の取組を持続可能で安定的なものとしなければならぬことを踏まえ、すこやか子育て医療費助成事業の対象年齢拡大については、引き続き様々な観点から研究してまいります。



その他の質問事項

● 学校教育現場における男女共同参画の取組について 他



こうふクラブ
代表質問 (分割)

山田 厚

会計年度任用職員制度への対応について

質問 会計年度任用職員制度の発足に向け、しっかりとした対応が必要と考えますが、現時点での想定年収額、正規職員と比較した手当と諸休暇、民間に適用されている正規職員への転換制度とパートタイム労働法の適用について伺います。

回答 現時点での試算では、一般行政職初年度の年収額は、フルタイム約232万円、パートタイム約174万円となります。

手当等は、地域手当、通勤手当、時間外勤務手当、期末手当等が支給可能となり、休暇・休業は、新たに介護休暇や育児休業等が取得可能となっています。

正規職員への転換制度は、地方公務員は労働契約法が適用除外となり、競争試験等により改めて能力実証を行う必要があります。

パートタイム労働法の適用は、公務員は適用除外ですが、教育訓

練等は法の趣旨を踏まえ配慮してまいります。

今後、検討課題があることから、国の動向を注視する中で引き続き研究してまいります。

消費税増税に伴う影響について

質問 甲府市が国に納める消費

税額は、平成30年度決算ベースでは、消費税率8%時は約13億円、10%時は約16億円となり、消費税増税により、市民生活に関する予算額が実質上の減額となると考えますが、市民生活を守るための財政上の対応について伺います。

回答 医療・福祉・教育をはじめとする市民生活に直接関係する各事業の経費について、消費税率の引き上げが増加することとなりますが、消費税率の引き上げが市民サービスの低下につながることはあってはならないと認識していることから、所要財源の確保に努める中、財政運営を行ってまいります。



その他の質問事項

・消費税増税に伴う本市の使用料等について 他



政友クラブ
代表質問 (分割)

岡 政吉

高層建物等の一時避難場所の確保について

質問 洪水時に民間の高層建物等を避難場所として使用できると協定を結び、周辺住民に周知すべきと考えますが、見解を伺います。

回答 洪水時の避難に際しては、一刻を争う事態が想定され、近隣の安全な高層建物等への避難や自宅の上層階への垂直避難等、状況に応じた避難行動が重要です。

このことから、指定避難所だけではなく一時避難所への避難が必要と考え、民間企業の社屋利用等、現在までに11の協定を締結し、災害時に備えているところです。

今後、公共施設はもとより、民間企業の社屋や共同住宅等も災害時に非常に有用であるため、地域の方々が、その建物の利用や避難ルート等を知り、適切な避難行動をとれるよう、地域住民や企業にご協力いただき、協定が締結できると期待しております。

市立甲府病院の建物へのヘリポート設置について

質問 洪水時に傷病者の受け入れや搬送が安全にできるよう、市立甲府病院の建物にヘリポートを設置すべきと考えますが、見解を伺います。

回答 市立甲府病院は、平成11年の移転開院時に地上ヘリポートを設置していますが、建物にヘリポートを設置するためには、構造診断と改修が必要となり、また、屋上へ設置する場合、工事期間中は上階の病棟を長期間休床しなければならぬことが予測されるため、実現は困難であると考えています。

浸水被害等により、地上ヘリポートが使用できない状況においては、本市及び山梨県の災害対策本部等と情報交換する中、近隣の小瀬スポーツ公園等の飛行場外離着陸場を使用し、傷病者の受け入れを行ってまいります。



その他の質問事項

・中心市街地活性化への取組について 他



創政こうふ
一般質問 (分割)
小沢 宏至

信玄ミュージアム来館者増 加への取組について

質問 開館から半年となるが、集客に向けた取組と来客数の推移について、また、この間の分析と今後の取組を伺います。

併答 信玄ミュージアムについては、観光商談会への参加や新聞、テレビ等様々な媒体を活用し、県内外にPRを行い、自主事業や「武田の館市」マルシェの開催等により、8月末現在で全国のガイダンス施設の中でも上位となる14万人超の方々に来館いただきました。

来館者は、4・5月は、個人客が中心でしたが、6・7月は、団体客が大きく増加したことから、商談会等でのPRが効果を挙げてきていると考えています。

今後も、展示内容を充実し、特別展示室へも足を運んでいただけるよう工夫するとともに、効果的なPR活動を行い、魅力あるイベント等を開催してまいります。

浸水時の太陽光発電パネルによる感電の危険性について

質問 浸水時における屋根や空気に設置されている太陽光発電パネルの感電の危険性について、周知すべきと考えますが、見解を伺います。

併答 経済産業省が公表した「水没した太陽電池発電設備による感電防止についてのお願ひ」では、破損・浸水している太陽光発電パネル等は感電の恐れがあるので近づかないことや、関係者以外の立ち入りを禁止するとともに、復旧は専門業者に依頼することなどが示されています。

このことを踏まえ、本市では、平時から破損・浸水した太陽光発電パネルの感電事故防止の情報をホームページ等で周知するとともに、災害時に破損・浸水した太陽光発電パネルが確認された場合には、防災行政用無線や防災アプリ等で緊急の注意喚起を行い、安全確保に努めています。



■その他の質問事項

・避難情報発令に関する取組について 他



創政こうふ
一般質問 (分割)
望月 大輔

ジュエリー産業の振興について

質問 本市ジュエリー産業における課題認識と支援策、また、タイ王国での販路開拓支援に行政としてどのような成果を求めたいか伺います。

併答 経営者や職人の高齢化等により、ジュエリー産業自体の維持が難しくなっており、事業承継による経営基盤の安定化等を図る必要があると考えています。このことから、甲府ジュエリーフェア開催等への支援による高付加価値化を図るとともに、経営管理や販売技術の向上を図る研修会への支援など経営基盤の安定化に向けた取組等を行っています。

市長が初めてタイ王国へ出向くトップセールスでは、タイ王国のジュエリー業界に影響力を持つ方々を訪問し、高い技術を持つ本市ジュエリーの魅力を積極的にアピールすることにより、本市とタイ王国のジュエリー業界との更なる交流を深め、タイ市場への販路

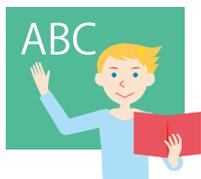
拡大と将来にわたる取引継続につなげていきたいと考えています。

JETプログラムを活用した外国語指導助手(ALT)の任用について

質問 ALTの任用については、国の財政措置が講じられるJETプログラムを活用すべきと考えますが、見解を伺います。

併答 本市小学校のALTについては、高学年での外国語活動の実施にあわせ、本格的に配置してきたところですが、英語が堪能でない教員との打ち合わせが必要なため、日本語のできる現地採用のALTを配置しています。

JETプログラムによって派遣されるALTは、近年、日本の教育に深い関心を持つ者が選考され、日本語ができる人材を希望できるようになってきましたので、今後は、JETプログラムを活用してALTを年次的に採用してまいります。



■その他の質問事項

・消防団員確保への取組について 他



公明党
一般質問 (分割)

堀 とめほ

ひきこもり支援について

質問 Q 甲府市ひきこもり支援の基本方針に基づく具体的な取組と、今後の展望について、ご意見を伺います。

回答 A 本市では、健康支援センターにひきこもりの相談窓口を開設し、これまで、電話や家庭訪問における相談対応をはじめ、支援を円滑に行うためのケース会議の開催等、切れ目のないサポート体制を整備したところです。

また、抱えている悩みなどの情報交換の場として、家族のつどいを12月に開催するとともに、居場所づくりについても、民間団体等との協議を重ねています。

更に、ひきこもりに対する正しい知識の普及・啓発に向け、民生委員や児童委員を対象とした研修会を、来年2月に開催し、順次、対象者を拡大してまいります。

今後は、ひきこもりサポーターの養成やアウトリーチ支援員の活用等についても検討してまいります。

子どものアレルギー対策について

質問 Q 子どものアレルギーに対する正しい知識とスキンケア方法を学ぶ研修会等を開催すべきと考えますが、見解を伺います。

回答 A 昨年4月に、山梨県アレルギー疾患対策協議会が設立され、本市の保健師も構成員に加わる中で、アレルギー市民公開講座甲府の開催やアレルギー専用サイトを開設するなど、市民や患者等が正しい知識を学ぶための取組が展開されています。

また本市では、パパママクラスでのスキンケア指導をはじめ、乳幼児健診等での個別対応等、正しい知識の提供や相談指導等に取り組んできたところです。

こうしたことから、本市をはじめ様々な機関で協議及び推進が図られており、研修会等の開催については、関係機関との連携の中で検討してまいります。



■その他の質問事項

● 小学校外国語教育におけるALTの増員について



こうふ未来
一般質問 (一問一答)

藤原伸一郎

リニア駅周辺住民への対応について

質問 Q 知事が変わる度に変更される整備方針の中には、時に住民置き去りとも思われる内容もあり、落胆している周辺住民もいます。リニア駅周辺整備の事業主体は山梨県であっても、最も身近な行政主体である本市は、更に積極的な住民対話を行うことが重要と考えますが、見解を伺います。

回答 A リニア駅周辺の住民の皆様に対しましては、これまで、各町で行われる住民集会等、様々な会議への本市職員の出席や個別の協議等を通じて、信頼関係の構築に努めてまいりました。

住民の皆様との対話は、地域の課題やニーズを把握する上でも大変重要と認識していることから、今後も、山梨県やJR東海等、関係機関とも緊密に連携を図る中で、様々な機会を通じて積極的な対話に努めてまいります。

本市における児童虐待について

質問 Q 山梨県内における児童虐待相談件数は、前年より202件多い1492件あり、中でも重篤なケースとして児童相談所に引き継いだ困難事例は152件でしたが、本市における養護相談の中で児童虐待と思われる具体的な内容について伺います。

回答 A 本市における児童虐待の相談内容は、平成30年度に子ども相談センター「おひさま」が受けた新規相談件数76件を福祉行政報告例に基づく虐待種別に分類すると、身体的虐待が31件、心理的虐待が28件、ネグレクトが16件、性的虐待が1件となっています。

また、このうち8件を緊急度の高いものや専門的知識等を要する困難事例として、児童相談所への引継ぎを行ったところです。



■その他の質問事項

● 児童虐待と学校について 他



政友クラブ
一般質問 (分割)
坂本 信康

AIやRPAの活用について

質問 事務を効率化し、質の高い市民サービスを提供するため、AI（人工知能）やRPA（ロボットによる業務自動化）等の先端技術の導入を進めるとともに、全庁横断的に取り組むべきと考えますが、見解を伺います。

併答 本市では、AIやRPA等のICT技術の活用により、生み出した時間を創造的な業務に充て、更に質の高いサービスが行えるようICT技術の導入に積極的に取り組むこととしたところであります。

また、福祉や税務など様々な分野において先進自治体の実証実験の状況を調査し、民間事業者からも情報を得る中で、庁内横断的な業務の見直しを進めています。

更に、職員全体のICT知識の底上げや意識改革が必要なことから、計画的に研修を行う中で、市民が求めるサービスの形態を描き、実践できる職員の育成に取り組ん

でまいります。

スポーツ施設整備について

質問 ライフスポーツを支える環境整備を図っていくために、どのようにスポーツ施設の整備改修を行っていくのか伺います。

併答 平成30年3月に甲府市スポーツ施設整備基本方針を策定し、市有スポーツ施設のそれぞれの課題と整備方針を取りまとめたところであります。

緑が丘スポーツ公園は、各施設が建設後60年以上経過していることや都市計画道路の影響を受けることから、先行して必要な対応を図るとともに、子どもの運動機会の充実や、ジョギング等のライフスポーツができる施設整備を行いたいと考えています。

その他の市有スポーツ施設については、機能維持のための改修を行っているところであり、今後も、引き続き市民の健康づくりに寄与できるスポーツ施設の整備に鋭意取り組んでまいります。



その他の質問事項

・消防団員の人材育成について 他



政友クラブ
一般質問 (分割)
深沢 健吾

東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組について

質問 フランス共和国とのホストタウン事業の展開と、レガシーの創出について伺います。

併答 ホストタウン交流事業では、オリンピック出場経験のある方々に体験談等をお話いただく、こうふドリームキャンプ等を開催するとともに、グローバル化の推進や地域活性化の観点から、フレンチの日と題した中学校給食の提供やKAIFUマルシェを開催するなど機運醸成を図っています。

引き続き、フランス代表選手等と市民との交流やオリンピックによる学校訪問等、多岐に渡るホストタウン交流を通じて国際感覚の醸成と国際理解の深化を図り、子どもたちをはじめ多くの皆様の心に刻まれ、未来に引き継がれるレガシーの創出に努めてまいります。

高齢運転者の交通事故防止策について

質問 交通事故防止につながる装置の設置や安全サポート車の購入に対する助成制度の創設は、高齢運転者の事故防止につながる有効な手段だと考えますが、見解を伺います。

併答 本市では、運転免許証返納高齢者支援事業や高齢者が交通事故の加害者にならないための意識の醸成に取り組むなど高齢運転者による交通事故の防止に努めているところであります。

このような中、本年6月の内閣府通知では、高齢者の安全運転を支える対策として、安全サポート車の普及、後付け安全運転支援装置の普及、高齢者の限定条件付き免許制度の創設等の各種対策を来年度にかけて進めるとしていることから、今後の国や県の動向などを注視し、本市の地域性等も踏まえながら更なる高齢運転者の交通事故防止に努めてまいります。



その他の質問事項

・幼児教育・保育の無償化に向けた取組について 他

常任委員会審査の概要

常任委員長
報告要旨

予算や条例など付託案件を審査した経過等の概要です。

民生文教 委員会

委員長：中村明彦 副委員長：深沢健吾
委員：岡 政吉 天野 一 寺田義彦 川崎 靖 木内直子 山田 厚

◆議案第67号 健康都市宣言について

宣言文における「自分の健康は自分で守り」という表現では、貧困問題や長時間労働などの社会的要因が健康に大きく影響を及ぼすことや、自分だけでは健康を守りきれない病気が障がいを抱えた方に対して、行政責任の表現が十分でないことから、反対であるとの意見がありました。

一方、賛成の立場から、本宣言については、一部の文言のみに捉われることなく前文や他の本文など全体を勘案し、それぞれの文言が何を示しているのかが重要であるという意見がありました。

また、本宣言の市民周知に当たっては、より丁寧な解説文とするよう求める意見がありました。

さらに、パブリックコメントでは多くの賛成する意見をいただくとともに、策定委員会やワークショップにおいても十分な協議がなされており、評価できる内容となっているという意見と、健康は自分で考えて行動することが一番大切であるという意見があり、採決の結果、多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆議案第83号 工事請負契約の締結について 他2案

3案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、児童がより良い教育環境で学校生活が送れるよう、熱中症対策や騒音・振動対策とともに、電気設備の浸水対策を一層図るよう求める意見がありました。

◆議案第68号 令和元年度甲府市一般会計補正予算(第2号)中当委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、幼児教育・保育の無償化に伴う副食費の実費徴収化により、負担増となる世帯に対しての継続的な助成を検討するよう求める意見がありました。

◆議案第69号 令和元年度甲府市介護保険事業特別会計補正予算(第2号) 他3案

4案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆請願第1-7号 教職員定数改善、少人数学級推進、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願

義務教育制度を維持していくために教育環境の改善は必要であることから、願意妥当であり採択すべきであるとの意見があり、全員異議なく採択するものと決しました。

経済建設 委員会

委員長：長沢達也 副委員長：望月大輔
委員：荻原隆宏 池谷陸雄 末木咲子
興石 修 堀とめほ 藤原伸一郎

◆議案第68号 令和元年度甲府市一般会計補正予算(第2号)中当委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、昇仙峡リバイバルプランについては、地元等の意見を踏まえる中で活性化につながる計画となるよう求める意見と、桃のせん孔細菌病防除に対する補助金の交付については、防除策を行う全ての桃栽培農家に対し十分な支援となるよう求める意見がありました。

◆議案第86号 市道路線の認定について

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

環境水道 委員会

委員長：山中和男 副委員長：山田弘之
委員：原田洋二 鈴木 篤 小澤 浩
小沢宏至 植田年美 廣瀬集一

◆議案第70号 令和元年度甲府市下水道事業会計補正予算(第1号)

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、甲府市浄化センター管理本館・脱水機棟(管理棟部分)耐震補強工事におけるアスベストの除去については、職員の安全も確保する中で着実に施工するよう求める意見がありました。

◆議案第81号 甲府市簡易水道等条例の一部を改正する条例制定について

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、公平性の観点から、簡易水道等事業全域における料金体系を検討していくよう求める意見がありました。

◆議案第82号 甲府市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

総務 委員会

委員長：長沼達彦 副委員長：神山玄太
委員：坂本信康 鮫田光一 金丸三郎
清水 仁 兵道頭司 清水英知

◆議案第71号 甲府市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定について 他1案

2案については、非正規職員の安定雇用及び待遇改善を一層図るべきであるため反対であるとの意見がありましたが、採決の結果、いずれも多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆議案第73号 消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例制定について

個人所得の増額が見込めない中で、市民の加重負担となるため反対であるとの意見がありましたが、採決の結果、多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆議案第74号 甲府市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について 他5案

6案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆議案第93号 教育委員会委員の任命について 他1案

2案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり同意するものと決しました。

特別委員会審査の概要

平成30年度決算を審査

◆決算審査特別委員会

委員長 兵道顕司
副委員長 天野 一
委員 池谷陸雄 坂本信康
長沼達彦 小澤 浩
鮫田光一 山中和男
寺田義彦 中村明彦
神山玄太 藤原伸一郎
清水英知 山田 厚



◆委員長報告（抜粋）

◆総括質問

◆平成30年度の行財政運営について

歳入では、個人市民税の増などにより増収となったものの、歳出では、社会保障関係費の増加などから厳しい財

政運営であったが、中核市への移行に向けた準備を進めつつ、こつこつ未来創り重点戦略プロジェクトに位置付けた施策・事業を推進する中で、とりわけ、「こども最優先のまち」を創るにおいては、甲府市子ども未来プランの策定や甲府市子ども応援センターの開設など、「子育て・子育て」の支援に取り組み、「くらし潤つまち」を創るにおいては、甲府市産業ビジョンを策定し、産業分野全般の進むべき方向性を示す中、各般にわたる施策を展開するなど、「稼ぐ・稼げる」につながる産業の振興や交流と賑わいの創出に努めてきたところであり、今後も、健全な行財政運営に努める中で、新たに策定したこつこつ未来創り重点戦略プロジェクトNEXTに掲げた7つの元気スタイルによる取組を推進していくとの答弁がありました。これに対し、今後も各種施策を力強く押し進めるよう求める意見がありました。

◆甲府市健康支援センターの開設に向けた準備と現状認識について

施設や設備などの環境づくりをはじめ、条例・マニュアル等の整備や各種専門職の確保など十分な準備を進め、特に独自性のある取組である「あなたの地区（まち）の出張保健室」（用語解説①参照）や企業で働く皆様の生活習慣病の予防対策においては、保健師に加え、医師・薬剤師・獣医師などが一体となり更なる充実を図るとともに、ひきこもりの相談窓口の開設に向け精神保健福祉士等の新たな配置や支援体制の構築などを盛り込んだ基本方針の

策定、更に、感染症や食中毒などの健康危機への対応等として、各種マニュアルの作成や研修など、予防や蔓延の防止に向け万全を期したところであり、開設後は、様々な職種の職員が専門的な視点から連携・協力する中、迅速かつ適切に業務を遂行しており、今後も、甲府市健康支援センターを拠点とする中で、「人」「地域」「まち」が一体となった健康づくりの実現に向け取り組んでいくとの答弁がありました。

用語解説①

「あなたの地区（まち）の出張保健室」とは

各地区の関係団体が行う健康まつり・健康教室や、お近くの公民館等において、地区担当保健師等が出向き、健康相談を行います。

◆第六次甲府市総合計画の第3次実施計画を踏まえた平成30年度決算の総括について

市政運営に当たっては、第六次甲府市総合計画の4つの基本目標に基づき、甲府市子ども応援センターの開設や外国人英語指導講師の増員など、安心して子どもを生み育てられる環境や良好な教育環境の充実を図ること、また、甲府市産業支援サイトを活用することともに、小江戸甲府の夏祭りの充実により賑わいの創出や交流人口の増加に努めるなど、「稼ぐ・稼げるまち」の実現に向けた諸施策を展開すること、更に、全自治会に対する地区防災計画等の作

成支援や健康都市こつこつ基本構想に基づく健康づくりの推進など、誰もが住み慣れた地域で健やかに安心して暮らすための諸施策を進めること、そして、ごみの減量化などの啓発活動や生活関連道路の整備など、清潔で快適な生活環境や機能的な都市基盤を整備することに努めてきたとの答弁がありました。これに対し、今後も、市民福祉の向上に一層努めるよう求める意見がありました。

◆平成30年度の歳入における予算額と決算額の比較について

歳入総額と予算額の差は、事業を翌年度へ繰り越したことによる在庫支出金等の減や、当初見込んだ歳出予算の未執行に伴う貸付金元金収入等の減によるものであったことから、事業の執行に要する歳入は確保できたところであり、また、地方交付税の予算額に対する減額は市税収入が増額となったことにより財源調整がされたものと認識しており、今後においても予算額と決算額に差が生じるものであることから、経済状況の推移等を見極めながら、国・県の予算編成の動向や制度改正等の情報の把握と分析により、適正な予算編成に努めていくとの答弁がありました。

◆市民生活及び地域経済の認識について

県内景気は緩やかに拡大しているとの基調判断がされる中、本市の納税義務者及び総所得金額の増加や有効求人倍率の高水準での推移などからも、市民生活は上向いたものと捉えており、

平成30年度決算審査

本市においては、就業・起業の促進や地域産業の基盤強化に取り組みとともに、医療費助成や就学援助、保育料軽減などの経済的支援による負担軽減を図ることにより、市民生活全般にわたる下支えにつながっていると考えていることから、今後も、豊かで安定した市民生活の実現と地域経済の維持・発展に資する取組を進めていくとの答弁がありました。

これに対し、市民の声に一層耳を傾け、行政運営に当たるとよう求める意見がありました。

◇財政の健全度について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に規定された平成30年度の4指標については、将来負担比率と実質公債費比率のほか、標準財政規模に対する一般会計等の赤字の割合を示す実質赤字比率及び公営事業会計を含めた赤字の割合を示す連結実質赤字比率のいずれの指標においても早期健全化基準を下回り、健全財政を維持しているところであり、今後も、行財政改革を継続的に推進し、安定的な財政基盤の強化を図る中で、健全な財政運営に努めていくとの答弁がありました。

これに対し、住民福祉の向上のため、市民生活に寄り添った健全な財政運営を行うよう求める意見がありました。

◆一般会計

○歳入について

市債（用語解説②参照）の借り入れについていただいたのに対し、計画的な

借り入れを行う中で、見直し合わせにより市中銀行から低利な借り入れが行えるよう努めたとの答弁がありました。これに対し、今後も調査・研究を行い、一層低利な借り入れができるよう求める意見がありました。

用語解説②

「市債」とは
市が道路や公園、学校などの公共施設を整備するために、銀行などから借入する長期的な借入金のことです。

○総務費について

ペーパーレス化推進への取組についていただいたのに対し、庁内において取り入れた電子会議を推進するため無線LAN等の環境整備を行うとともに、職員に対しては、資料をワンペーパーでまとめる作成能力の向上を目指した研修等を実施したとの答弁がありました。

これに対し、引き続き事務の効率化や経費の削減につながるペーパーレス化を一層推進していくよう求める意見がありました。

○民生費について

子ども支援推進事業の取組についていただいたのに対し、子ども支援の担い手となるボランティアの掘り起こしや育成を行うとともに、実際に活動しているボランティアとの交流を図り、また、個別案件の相談に応じアドバイス

を行ったほか、モデル校を選定し制服や学用品等のリユースを実施したとの答弁がありました。

これに対し、未来を担う子どもたちが健やかに成長できるよう、更なる事業の推進を求める意見がありました。

○農林水産業費について

指導普及事業についていただいたのに対し、新たな本市の特産品の創出に向け、出荷農家の協力を得る中で、青パパイアの実証栽培試験を引き続き行ったとの答弁がありました。

これに対し、青パパイアが全国的な特産品として認知されるよう取り組んでいくことを求める意見がありました。

○教育費について

学校規模適正化の取組についていただいたのに対し、児童・生徒の適正配置に向け、児童数が多い山城地区及び玉諸地区の一部において、新たに小学校の通学調整区域を設定したとの答弁がありました。

これに対し、南部地域の中学校においても通学調整区域について検討するなど、全市的な学校規模適正化の推進を求める意見がありました。

◆特別会計

○国民健康保険事業特別会計

賦課限度額の引き上げにより高額所得世帯とは言えない世帯が負担増となったことから反対であるとの意見がありました。

○後期高齢者医療事業特別会計

保険料の納付相談についていただいたのに対し、徴収嘱託職員が滞納者宅を訪問し、分割納付の相談など、きめ細かに対応したとの答弁がありました。

◆企業会計

○病院事業会計

一般会計からの繰入金についていただいたのに対し、予算編成時に財政担当と協議する中、病院事業における経営改善を含めた状況を勘案することともに、一般会計の負担可能な範囲において繰り入れを行っているとの答弁がありました。

これに対し、財政担当と更に協議し、一般会計からの繰入金金が基準に基づいた金額となるよう求める意見がありました。

○下水道事業会計

効率的な有収率向上の取組についていただいたのに対し、雨天時浸入水対策ガイドラインを策定している国等の動向を注視するとともに、新たに塩化ビニール管布設エリアの浸入水防止対策について検討しているとの答弁がありました。

これに対し、費用対効果を意識する中で検討していくよう求める意見がありました。

採決の結果、いずれも当局原案のとおり認定、可決及び認定するものとなりました。

『健康都市宣言』

本市で 9 つ目の都市宣言となる『健康都市宣言』の審査にあたっては、市民の健康に対する想いがぶつかり合い、9月定例会における民生文教委員会や本会議で、活発な質疑・討論が交わされた結果、賛成 28 人、反対 2 人をもって可決いたしました。

令和元年9月定例会 審議結果

	件名等	議決月日	結果	政友クラブ	創政こうふ	公明党	こうふ未来	日本共産党	こうふクラブ
議案第67号	健康都市宣言について	9月19日	可決	○	○	○	○	×	○
議案第68号	令和元年度甲府市一般会計補正予算(第2号)	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第69号	令和元年度甲府市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第70号	令和元年度甲府市下水道事業会計補正予算(第1号)	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第71号	甲府市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定について	//	//	○	○	○	○	×	×
議案第72号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について	//	//	○	○	○	○	×	×
議案第73号	消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例制定について	//	//	○	○	○	○	×	×
議案第74号	甲府市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第75号	甲府市職員給与条例等の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第76号	甲府市過疎対策のための固定資産税の免除に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第77号	甲府市印鑑条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第78号	甲府市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第79号	甲府市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第80号	甲府市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第81号	甲府市簡易水道等条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	×	×
議案第82号	甲府市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	×	×
議案第83号	工事請負契約の締結について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第84号	工事請負契約の締結について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第85号	工事請負契約の締結について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第86号	市道路線の認定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第87号	平成30年度甲府市各会計別決算の認定について	10月2日	認定	○	○	○	○	×	×
議案第88号	平成30年度甲府市地方卸売市場事業会計決算の認定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第89号	平成30年度甲府市病院事業会計決算の認定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第90号	平成30年度甲府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	//	可決及び認定	○	○	○	○	○	○
議案第91号	平成30年度甲府市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第92号	市政功労表彰の決定について	9月19日	可決	○	○	○	○	○	○
議案第93号	教育委員会委員の任命について	//	同意	○	○	○	○	○	○
議案第94号	監査委員の選任について	//	//	○	○	○	○	○	○
甲議第 6 号	決算審査特別委員会委員の補欠委員の選任について	//	選任	○	○	○	○	○	○
甲議第 7 号	教職員定数改善、少人数学級推進及び義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書提出について	//	可決	○	○	○	○	○	○
甲議第 8 号	新山梨環状道路「北部区間」の早期整備に関する意見書提出について	10月2日	//	○	○	○	○	×	×

※こうふ未来の廣瀬集一議員は、一身上の都合により9月19日及び10月2日欠席

○賛成 ×反対

《甲府市議会会派》

政友クラブ ◎池谷陸雄 荻原隆宏 原田洋二 鈴木 篤
岡 政吉 坂本信康 長沼達彦 小澤 浩
末木咲子 深沢健吾 鮫田光一
創政こうふ ◎清水 仁 金丸三郎 輿石 修 山中和男
天野 一 小沢宏至 望月大輔 寺田義彦

公 明 党 ◎兵道顕司 植田年美 中村明彦 長沢達也
堀とめほ
こうふ未来 ◎廣瀬集一 神山玄太 藤原伸一郎 川崎 靖
日本共産党 ◎清水英知 木内直子
こうふクラブ ◎山田 厚 山田弘之 ◎は会派代表者

○内閣総理大臣、財務大臣、国土交通大臣に提出

甲府市議会では、平成14年3月に新山梨環状道路に関する意見書を提出していますが、早期整備の重要性に鑑み、今回、改めて議員提案による意見書の提出についてを可決いたしました。

意見書

新山梨環状道路「北部区間」の早期整備に関する意見書

高速道路及び地域高規格道路は、地域の産業発展に資するとともに、大規模災害時における広域支援ルートとして、命を守る社会資本の要である。

地域高規格道路である新山梨環状道路は、全長約43kmの環状道路計画であり、既に南部・西部区間の約19kmは供用開始されている。

また、東部区間約7kmについては、山梨県が事業主体となり整備を行っており、残りの北部区間約17kmについては、平成8年に国が調査区間に指定して以降、環境等に与える影響等に配慮しつつ事業化を図り、現在約7km区間（広瀬～桜井間、牛匂～宇津谷間）の整備を行っている状況である。

この新山梨環状道路を全線整備することにより、道路ネットワークを構築することができ、国道20号の慢性的な渋滞の緩和や地域間の交流・連携を深めることが可能となり、活力ある地域づくりや安全で安心なまちづくりにつながる。また、既に供用開始している区間の沿線では、県全体の人口が減少する中で増加傾向にあるなど一定の効果が現れている。

さらに、令和9年に開業が予定されているリニア中央新幹線と中央自動車道とシームレスに接続することにより、甲府市をはじめ県内の観光拠点が東京から1時間圏域になることから、経済効果をより広い地域に波及させることができる。

以上のことから、リニア中央新幹線開業までに骨格となる交通網を構築し、豊かな郷土を築く礎をなすためにも、新山梨環状道路「北部区間」の早期整備が必要である。

については、道路整備の必要性を十分認識し、継続的・安定的な整備が図られるよう、次の事項について強く要望する。

- 1 リニア中央新幹線の開業を見据え、北部区間のうち既事業化区間を一層整備促進し、未事業化区間を含めた全線の早期整備を図ること。
- 2 令和2年度予算編成において、道路整備の推進を図るための所要額を確保すること。

教職員定数改善、少人数学級推進及び義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書〈抜粋〉

（前略）長時間労働是正に向けて教職員の働き方改革が進められているが、業務の削減や役割分担、勤務時間の適正化は大きな改善が見られていないのが現状である。

いじめ・不登校などの教育課題に迅速に対応し、一人ひとりの子どもにより丁寧な指導・支援を行いながら、豊かな学びを実現していくためには、教職員定数改善とともに、一クラスの学級規模を引き下げることが最重要施策である。

（中略）義務教育費国庫負担制度については、三位一体改革の中で国庫負担割合が2分の1から3分の1に引き下げられ、厳しい財政状況の中、独自財源により人的措置を行っている自治体も多く、地方自治体財政を圧迫していることや自治体間の教育格差が生じることは大きな問題である。

子どもたちが全国どこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請であり、国の施策として豊かな子どもの学びを保障するための定数改善に向けた条件整備は不可欠である。

以上のことから、次の事項について適切な措置を講ずるよう強く要望する。

- 1 計画的な教職員定数改善を進めるとともに、少人数学級の推進を図ること。
- 2 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国庫負担割合を2分の1に復元すること。
- 3 教育条件の格差解消を図るため、地方交付税を含む国における教育予算を拡充すること。

○提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 総務大臣 文部科学大臣

◎市政功労表彰の決定

本市の発展に尽力され功績が顕著であることから、次の方々を市政功労表彰者として決定する議案が提出され、全員異議なく可決されました。

臼井成夫（地方自治の進展）

宮島雅展（市政の発展と地方自治の進展）

金丸康信（産業振興や地域社会の発展）

戸田 知（福祉の向上）

◎人事案件については、次のとおり同意されました。

◆教育委員会委員の任命について 原 玲子

◆監査委員の選任について 小林憲次郎

（敬称略）

議員自身から議会の審議内容や結果をご報告する

『議会報告会』を開催します

市民と議会の交流会

～議会報告会・意見交換会～

テーマ 未来の甲府に望むこと

11月11日(月)
19:00～21:00

甲府市総合市民会館 3階 大会議室
(甲府市青沼 3-5-44)

11月12日(火)
19:00～21:00

甲府市役所 4階 大会議室
(甲府市丸の内 1-18-1)



どなたでもご参加いただけます。お気軽にお越しください。

令和元年9月定例会 請願審査結果

番号	件名	付託委員会	結果
第1-7号	教職員定数改善、少人数学級推進、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願	民生文教	採択
第1-1号	国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願	総務	継続審査
第1-2号	核兵器禁止条約への日本政府の署名と批准を求める意見書採択についての請願	//	//
第1-3号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める請願	民生文教	//
第1-4号	介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める請願	//	//
第1-5号	看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める請願	//	//
第1-6号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願	経済建設	//

編集後記

9月定例会で可決された「健康都市宣言」を受け『元気 City こうふ』に向けた取組がいよいよ始まります。家庭で、職場で、地域で、無理なく健康のリズムを整えながら、自分らしくはつらつと生き抜いていくための希望の宣言に、大きな期待が寄せられています。

また、11月には甲府市議会初の「市民と議会の交流会」も開催されます。多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

広報委員 堀とめほ

甲府市議会広報委員会

委員長：金丸三郎 副委員長：植田年美 委員：深沢健吾 寺田義彦 堀とめほ 神山玄太 木内直子 山田弘之

甲府市議会ホームページ・Eメール

URL <http://www.city.kofu.yamanashi.jp/shise/gikai/index.html>

Email gikai@city.kofu.yamanashi.jp



〈モバイル〉



〈フェイスブック〉